

# 瀬戸内学園広報紙

発行 社会福祉法人 瀬戸内福祉事業会

瀬戸内学園 根っこ せとうち

つばさ せとうち ケアホームせとうち

発行責任者 宮本 勇

〒712-8015 倉敷市連島町矢柄 6092

☎086-448-1811

# せとうち

## 年に一度の誕生日外出!



大好きなイチゴをパクッ!



榎山公園でのんびり



みんなで楽しくアンパンマン&電車でお出掛け!



二人仲良くビールで乾杯!



暑い時にはかき氷が一番!

## 好きなところに行って遊んだよ!

誕生日外出では、施設入所支援の利用者の方を対象に、誕生月に個人・グループで「やってみたい・行ってみたい」ことの希望を叶えます。

「早いもので」支援員 中村 範弘

早いもので瀬戸内学園で働き出してから、15年が経つ。この職場で働くきっかけを作ってくれたのは瀬戸内学園で働いていた友人だ。その友人とは、いつも仕事のことを面白おかしく話していた。その頃の会話の楽しいイメージと、彼の勧めもあって深く考えずに、利用者の方と楽しく施設で働くのも楽しそうだなーと思い、瀬戸内学園で働くことを決意した。

入社してからは色々な仕事をさせてもらっている。自分がイメージしていた通り、利用者の方との会話や仕事は楽しいものだ。特に自身の趣味にも近いDIYや機械をさわるような仕事を一緒にしていると、利用者の方の話に自然と耳を傾けるようになる。ありきたりかもしれないが、これを15年間続けてきて感じるのは、施設を利用されている方々は色々なことで困っているということだ。その困っていることに寄り添いながら、一つひとつ自分なりに解決に向けたお手伝いをしていく訳だが、目の前の問題が解決した後の、利用者の方からの『ありがとう』は本当に嬉しく感じる。心からの喜びがひしひしと伝わってくるからだ。この『ありがとう』という言葉に、翌日からのやる気をもたらしているなど感じている。

これからも利用者の方が一歩前へ踏み出せるように、そして、また何年か先『早いもので...』と振り返ったときに、積み重ねられた『ありがとう』に喜びを感じられるように、今までと変わらず笑顔で楽しく仕事をしながら、自分なりに利用者の方の力になっていきたいと思う。

「食べる」ということは、生命維持や健康維持・増進に不可欠なものであると同時に、満足感を得たり、自己表現でもあり、楽しみを得るための方法でもあります。誰かと食卓を囲む一体感、食事中のコミュニケーション、食べ物のにおい、色、味、食感など、すべてが食事の楽しみになります。

瀬戸内学園では、調理部門の職員が入所されている方の朝・昼・夕の食事、通所されている方の昼食を提供しています。利用者の方に毎日の食事をより楽しんでいただけるように、パリエーションに富んだ食事の提供を考えています。

また、瀬戸内学園では医療機関とも連携を取りながら、利用者の方一人ひとりに適した食事を安全に食べていただけるよう、様々な取り組みも行なっています。

今回は、瀬戸内学園全体の『食』をたっぷりとご紹介します！

### 栄養マネジメント

利用者の方に健康でいていただきたい、安全に楽しく食事を摂っていただきたいという思いの反面、近年、利用者の方の高齢化や身体機能の低下等も歳を重ねていく中で顕著にみられるようになり、栄養マネジメントの重要性を感じるようになりました。

そこで、瀬戸内学園では5月から入所されている方を対象に、管理栄養士を中心とした他職種連携による「栄養マネジメント」を開始しました。他施設への見学、研修会への参加等を経て、一人ひとりに最適な栄養計画を立て、その計画に沿って見直しを行なうながら実施しています。

例えば、食事形態で歯の状態や嚥下状態によって一口の大きさに切った食事、やわらかいソフト食、またはもつとやわらかいペースト状にした食事を提供させていただいています。

また、やせすぎたりすぎ等、体重の変化に注意し主食の量も調節しています。病気の面からも透析を受けられている方には透析食、高血圧と診断を受ける方には減塩食、高脂血症の方には低脂肪食、貧血や骨粗しょう症の方には状態によっては栄養補助食品等を提供しています。

この栄養計画は管理栄養士を始めとして、医師、管理者、サービス管理責任者、看護職員及び生活支援員、厨房職員等、利用者の方の支援に関わる全ての職員が連携を取って進めています。

この栄養計画は管理栄養士を始めとして、医師、管理者、サービス管理責任者、看護職員及び生活支援員、厨房職員等、利用者の方の支援に関わる全ての職員が連携を取って進めています。

利用者の方には減塩食、高脂血症の方には低脂肪食、貧血や骨粗しょう症の方には状態によっては栄養補助食品等を提供しています。

この栄養計画は管理栄養士を始めとして、医師、管理者、サービス管理責任者、看護職員及び生活支援員、厨房職員等、利用者の方の支援に関わる全ての職員が連携を取って進めています。

### 嚥下について



※摂食・嚥下障害看護認定看護師とは日本看護協会が策定した資格認定制度の資格の一つで、摂食・嚥下障害の分野において、熟練した看護技術と知識を用い、水準の高い看護が実践できる看護師のことです。

## リクエストメニュー

三ヶ月に一度、各事業所単位で嗜好調査を行ない、それを基に利用者の方の要望の多いメニューを「リクエストメニュー」として毎月1回提供しています。皆さん今月のリクエストメニューは何だろう、自分がリクエストしたものが出るかなとワクワクドキドキ！！



## せとうちの

# 『食』特集!

## パン食の日

利用者の方はパンが大好き。でも飲み込みにくくさもあります。そこで、安全においしくパンを食べることができるように、調理部門の職員の工夫で飲み込み易くしたパン食が提供されています。利用者の方はとても楽しみにされています。



## 農耕班収穫祭

農耕班では野菜作りを行っています。利用者の方が協力して育てた野菜を収穫し、販売したり、自分たちで育てた野菜を収穫・調理し食べるという取り組みも行っています。自分たちで育てた野菜の味は格別です！



## 誕生日会



年に一度の誕生日。誕生日会用の特別メニューで、毎月、利用者の方をお祝いします。ケーキやジュース、お酒も振る舞われます。グループホームでも利用者の方、一人ひとりのお祝いをしています。



## 選択メニュー

毎週木曜日の昼食は二種類のメニューから自分の食べたい物を選んで食べることができる選択メニューとなっています。今日はどっちにしようかな♪



## クラブ活動

クッキングクラブの活動では、利用者の方のおやつや昼食作りを通して食べる楽しみだけでなく、自分達で調理する楽しみを体験してもらっています。食べることはもちろんですが、準備から片付けまで利用者の方同士協力して取り組んでいます。





4月  
5月



フライングディスク

### 岡山県障がい者スポーツ大会



陸上



卓球



ボウリング

### 4月 連東学区町内運動会



5月



ほほえみグループ旅行  
inみるくの里

### 7月 ナイスハートin福田公園



7月

根っこ せとうち  
七夕祭り



## 行事あれこれ

### 岡山県

### 障がい者スポーツ大会結果

#### フライングディスク

- 1位 松下 明彦様
- 2位 斎藤 真里様

#### 100m 走

- 2位 三宅美智子様

#### 50m 走

- 3位 白神 淑子様

#### ソフトボール投げ

- 2位 新免久仁子様

#### 卓球

- 1位 門脇まゆみ様
- 2位 大西 章太様
- 2位 利川 英弘様
- 2位 花岡 孝市様

#### ボウリング

- 2位 村田 裕美様

選手の皆様

おめでとうございます!!

### 学園の出来事

#### ☆新しい仲間

- 田井 良樹様 つばさ せとうち 入所 4月1日付
- 妹尾 舞様 つばさ せとうち 入所 4月1日付

- 中本 直様 根っこ せとうち 入所 3月23日付
- 松本 稔様 根っこ せとうち 入所 4月1日付
- 三宅 保様 根っこ せとうち 入所 6月11日付
- 篠 加代子様 根っこ せとうち 入所 6月14日付

#### ○退職職員

- 福田 邦子 調理員 3月31日付
- 長い間おつかれさまでした。
- 文箭 直子 事務員 6月30日付
- ご結婚おめでとうございます!

#### ○新人職員

- 5月より瀬戸内学園、つばさせとうち共に職員配置を1.7:1としました。
- 田平俊太郎 瀬戸内学園 支援員

- 利用者様との日々を大切に、よりよい生活環境を目指した支援をしていきたいと思っております。
- よろしくお願ひします。
- 3月7日付

- 井原 彩香 瀬戸内学園 支援員
- 明るく、元気に、笑顔で、をモットーに一生懸命頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひします。
- 3月7日付

- 染田 真吾 瀬戸内学園 支援員助手
- 早く仕事を覚えて、利用者様が安心して楽しく過ごせるような支援ができるよう頑張ります。
- 3月7日付

- 神田 盛男 瀬戸内学園 支援員助手
- 利用者様と毎日楽しく安全に過ごせるよう頑張っています。
- 3月7日付

- 河原 和美 つばさ せとうち 支援員助手
- 利用者様の皆様とじっくり信頼関係を築き、毎日楽しく過ごせるよう頑張ります。
- 3月7日付

- 小野ひかる ケアホームせとうち 支援員助手
- 利用者様が安心して生活できるよう笑顔で絶やさず頑張ります。
- 3月7日付

- 柳本 智子 事務員
- 一日でも早く業務に慣れるようがんばります。
- 4月1日付

- 西川 啓子 つばさ せとうち 支援員助手
- 利用者様が安心して楽しく過ごして頂けるよう常に笑顔でよい支援ができるよう一生懸命頑張ります。
- 4月18日付

- 田中 弘子 瀬戸内学園 支援員助手
- 利用者様の名前を早く覚えて、皆さんの中に溶けこめるよう頑張ります。
- 6月20日付

- 秀川 桂子 瀬戸内学園 支援員助手
- 初めてのことばかりですが、まずは利用者様の名前と顔を覚えて頑張っていきます。
- 6月20日付

### 防災活動

火災に限らず、災害はいつ何が原因で起こるかもしれません。瀬戸内学園では定期的な日中や夜間を想定した避難訓練を行なっています。年に一度の総合防災訓練では水島消防署職員の方に避難訓練の様子を見ていただき、避難誘導や連携の取り方、消火器の使用方法等、防災に関する専門的なアドバイスをいただいております。



### 救命講習

利用者の方の高齢化や重度化に伴い救急車を要請する機会も増えてきました。年に一度の救命講習では心肺蘇生やAEDの使い方やけがの手当など、命を守る知識とスキル習得も行なっています。また瀬戸内学園は、倉敷市より救命スタッフ常駐認定施設に指定されており、3年に一度、より高度な救命講習を受けています。



### 編集後記

今年も暑い暑い夏がやってきました！利用者の方も日々の食事の時間をとても楽しみにされています。たくさん食べて夏バテなんて、吹き飛ばせ！この夏も元気いっぱい乗り切ってくださいませ！  
(編集部一回)